

授業科目名	言語学概論(2100521)		
時間割名	言語学概論(70134)		
時間割担当	西尾純二		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

日本語を言語学という視点で考えていく。高校までは「国語」の授業があったが、おなじ日本語を対象としながら言語学と国語とでは、言語観、分析法がかなり違う。日本語では当たり前のことが、外国人にとってはちっとも当たり前なことではないことが多い。世界の全言語に共通する、言語記号の性質、言語体系の存在の仕方、様々なレベルの単位といった事柄を学び、そのうえで日本語の特徴を考えていきたい。そのことで、「国語」が、世界の中の一言語「日本語」として客観的に理解・分析できる能力を身に着けることを目標とする。

学習の到達目標

「語(方言)は美しい」「語(方言)は下品だ」といった偏った思想に基づく言語観から脱却し、ことばについての科学的な分析能力・説明能力を身に付ける。

授業方法・形式

基本的には講義形式で行う。人数規模にもよるが、なるべく質問を多く行い、受講生に答えてもらう形をとる。

授業計画

- 第1回 イントロダクション
- 第2回 いろいろな言語学(1)
- 第3回 いろいろな言語学(2)
- 第4回 人類と言語の成立
- 第5回 祖語の探求 比較言語学 (1)
- 第6回 祖語の探求 比較言語学 (2)
- 第7回 言語の「一般的」特徴(1)
- 第8回 言語の「一般的」特徴(2)
- 第9回 言語の「一般的」特徴(3)
- 第10回 言語の「一般的」特徴(4)
- 第11回 文法とは何か(1)
- 第12回 文法とは何か(2)
- 第13回 ことばの価値(1)
- 第14回 ことばの価値(2)
- 第15回 進行調整と総括

成績評価の基準

平常点(出席状況・受講態度・授業への貢献) 30%
 期末レポート 70%

準備学習・復習及び授

期末レポートの作成には、抽象的な概念を具体的な事例をもとに説明することが求められる。授業内で学んだ言語学の諸概念を、自身のことばや事例で説明できるトレーニングを積んでおいてください。

履修上のアドバイス及

会話は話し手と聞き手との協働作業です。うまく協働できれば、会話は楽しさや目的の達成度が上がります。講義も同様なので、お互いよい協働をしましょう。

教材・教科書

授業中にハンドアウトを配布します。

参考書

授業内で適宜指定します。